

R8円山小学校スクールプランについて



日頃より円山小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき大変感謝しております。ありがとうございます。今年度、本校では子供たちがこのような力をつけてほしいということや、そのためにどのような手立てで取り組んでいくのかについてスクールプランを作成しました。今回はそのスクールプランについて簡単にご説明いたします。

昨年までの3年間「探究的な学び」を研究してきました。3年間の研究を通して「一つの事象から課題を見付けて子供の興味関心を生かしながら一連の流れを意識した授業作りをすることを教員ができるようになった」「児童が思考ツールを有効に使えるようになった」などの成果がありました。一方で、自分の課題を解決するための調べ学習を進める中で「書籍やインターネットなどの文章から、正確に情報を読み取り、その内容を理解することが難しい」という課題が各学年から挙げられました。また、学習面や生活面において「受け身な児童」や「うまく言葉で話せず自信がない児童」も少なくありません。これらの課題に対して、言葉の意味を正確に理解したり、自分の思いや考えをもち、それにぴったりの言葉を選んで、相手に自分の伝えたいことを的確に表現できる力が必要なのではないかと考えました。

そこで、今年度からは「自分の思いや考えを表現できる円山っ子」を研究主題とし、自分の思いや考えを自信をもって表現できる児童の育成を目指し、研究を進めることにしました。

また、今年度の研究副主題を「個別最適な学びと協働的な学びを通して」とし、子供たち一人一人の興味関心や特性を踏まえながら、全ての児童がこれからの社会を生きぬく資質・能力を身に付けることを目指します。一人一人で学んだこと（個別最適な学び）を、みんなで共有（協働的な学び）する場面を学習活動や特別活動の中で意図的に設定し、学びを一層深めたり確かなものにしたりしていきたいと考えています。

言葉に関する学習では、語彙力を養えるような取組をしていきたいと考えています。例えば、授業で分からない言葉が出てきた際には、国語辞典やタブレットで意味調べを行うことを習慣化したり、算数用語や理科用語など専門的な言葉を教師も児童も意識して使ったりするなどの学習指導をしていきます。また、学級では、週3回の朝読書（10分間）の時間をしっかりと確保したり、分からない言葉が出てきた際に「分からない」といえる学級作りをしたりするなどして語彙力を育む活動に取り組んでいきます。

また、特別活動では、子供新聞を使った活動やたてわり班での読み聞かせ活動などを行っていきたいと考えています。児童が自然に楽しんで言葉に触れられる機会を増やしていくことで言葉の力を養うことを目指します。

個別に学習を進める場面、教師が全体に指導する場面、児童が教えあったり対話をしたりする場面等の効果的な組み合わせを模索しながら、児童一人一人が自分の思いや考えを自信をもって表現することができるよう、研究を進めていきます。

スクールプランについては、現在、円山小ホームページでもご覧いただけます。